「いわて加工食品輸出促進研究会」（仮称）設立骨子

１．目的

岩手県は、広大な農地と地域の気象条件や特性を生かした多彩な農林水産物の生産が行われており、これらの農畜水産物や豊かな自然環境を背景に、加工食品においても、地域食材を生かした発酵食品、麺類や菓子類、そして日本酒を始め、ワインやリキュール等の酒類など、多彩な加工食品が生み出されている。また、南部鉄器や漆器などの食に関係する伝統工芸品も岩手県の魅力を引き立てている。さらに、岩手県県南地域はアメリカメジャーリーグの大谷翔平選手の出身地であることから、「岩手」の知名度は世界的に高まりつつあるなかで、県南地域を中心とした加工食品は販路を大きく拡大させるチャンスにある。

また、今後も岩手県内の加工食品を海外へ輸出することは、県産加工食品等の魅力を世界中の人に届けると同時に、国内市場の縮小や後継者不足等の課題解決の手段となると考えている。

このため、県南地域を中心とした本研究会の会員事業者が製造販売する加工食品を、地域商社等と連携しつつ、岩手県の魅力と合わせて発信し、海外マーケットにおける認知を向上させ販売機会を創出する取組を実施し、海外輸出の拡大を目指す。

２．体制

会　　長　佐藤貴之　（株式会社水沢米菓）

副 会 長　佐々木洋平（佐々長醸造株式会社）

佐藤竜太　（株式会社エーデルワイン）

監　　事　及川順也　（岩手銘醸株式会社）

事務局長　菊地孝典　（株式会社回進堂）

事務局次長 高橋智之　（小山製麺株式会社）

オブザーバー

農林水産省東北農政局、中小機構東北本部、JETRO盛岡、岩手県、

岩手県県南広域振興局（申請・進捗管理）

　会　　員　南いわて食産業クラスター形成ネットワーク会員のうち、岩手県内の輸出拡大を目指す加工食品事業者、地域商社、物流事業者等

３．設立年月日

　令和６年１月

４．研究会の取組内容

　　海外展示会への出展、海外の日系小売企業等と連携した物産フェアの実施、海外バイヤー向けの輸出商品紹介広報物作成、輸出に関する各種研修等

　（具体的取組）

【物流】

地域商社や海外現地商社、バイヤー及び会員の連携による商流の確保と、釜石港国際物流ルートの活用による物流コストの削減（令和６年度以降、継続実施）

　　【販売】

①　Japanese Food Expo 2024

開催時期：令和６年11月２～３日

開催場所：アメリカ（ロサンゼルス）

対象品目：酒類、農林水産物、加工食品、食に関わる伝統工芸品等

　　②　在サンフランシスコ日本総領事館等と連携した「岩手の食」プロモーション

開催時期：令和６年11月（時期調整中）

開催場所：アメリカ（サンフランシスコ）

開催内容：ＢtoＢ、ＢtoＣのフェア、商談会、釜石港国際物流ルートによる共同輸送

③　Food Expo Hong Kong（香港）

開催時期：（昨年）2023/8/17～21

開催場所：詳細未定

実施内容：ジェトロのパビリオンを利用して出展を予定

④　商談会出展（輸出EXPO 2024）

開催時期：令和６年11月27～29

開催場所：幕張メッセ

実施内容：海外展開を目指す会員商品を出展し、商談を実施

⑤　上記の取組と合わせ、海外展開を考える会員商品ついては特に、商品情報

や産地情報を食クラのＨＰに掲載し、展示会、試食商談会等に活用する。（令

和６年度以降、継続実施）。

【研修】

会員の資質向上のため、輸出に関する各種セミナーや情報交換を実施する

（令和６年度以降、継続実施）。

５．取組対象国

　　当面はアメリカ及び香港を取組対象国とするが、支援機関（中小機構、JETRO等）を通じた情報収集による現地ニーズや会員の希望等も踏まえつつ、対象国の追加・変更も視野に入れることとする。

６．運営経費等

　　令和６年度の運営経費については、農林水産省の令和５年度補正予算「加工食品クラスター輸出緊急対策事業」に申請することに加え、会員からの徴収（年会費12,000円、入会金50,000円）を充てることとし、必要に応じて研究会で継続的に検討を進める。